



- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

見えない壁だって越えられる～新しい年に生きる道を自ら切り開く～

校長 辻 成一郎

新年を迎えました。今年もよろしくお願ひいたします。

まもなく、北京冬季オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、新型コロナウイルスのオミクロン株蔓延もあり、ずいぶん前のことのように感じられます。オリンピックが始まると、メダリストの活躍が話題になり、少しはみんなの気持ちも明るくなるでしょう。

小林幸一郎さんというパラクライミングの選手がいます。パラクライミングとは、障害者のクライミング競技のことです。

彼は、運動も勉強も苦手で、やりたいこともなくいつもぶらぶらしている中学生でした。高校2年の時に、雑誌の記事を見て参加したフリークライミングの体験で、登り切った爽快感と、うまく登れなかった悔しさを味わい、大人に交じってフリークライミングに参加するようになりました。フリークライミングとは、自分でコースを考え、手足だけを使って、自然の岩山を登るスポーツです。その後、彼は、フリークライミングを続けるため、必死に勉強して大学に入り、就職後もフリークライマーとして活動します。

ところが、28歳の時、医師から、遺伝性の病気で、現代医学では直す方法が無く、いずれ失明することを告げられます。何もかもができなくなる恐怖におびえ、閉じこもるようになりました。

そんな時、出会ったケースワーカーの方に、相談して、こう言われます。

「…大事なことは、あなたが何をしたいか、あなたがどう生きていきたいかなのです。…あなたがやりたいことをやりなさい。あなたが、あなた自身の生き方を見つけ、あなたの人生を生きるのです。…あなたがやりたいことをやれば、私たちや、あなたの周りの人たちや社会のしくみが、あなたが必要としていることを支えてくれるはずですよ。」

(著書「見えないチカラー視覚障害のフリークライマーが見つけた明日の希望」より)

「自分の人生を生きなさい」という言葉に背中を押され、失明を嘆くのではなく、どう生きたいのか？ やりたいことは何なのか？を探し始めます。

できないことは素直に助けを求め、新しい事業に挑戦します。うまくいかなくても、“何とかなるさ”と“とりあえずやってみよう”を支えに、視力が低下する中でも、好きな旅行やクライミングに出かけ、視野を広げ、人と出会い、気持ちを切り替え、次にやりたいことを模索していきました。

そして、好きなクライミングの楽しさを、他の視覚障害者にも伝える活動をしてみようと思いついた時に会ったのが、アメリカの全盲の登山家エリック・ヴァイエンマイヤーでした。彼は、全盲で世界7大陸最高峰すべてに登り、自然の壁を登る力と技術を身につけていました。エリックの、

「日本でまだ誰もやっていないのであれば、それはキミの仕事なんじゃないか。」

という言葉に力を得て、小林さんは、NPO法人『モンキーマジック』を設立し、今も各地で視覚障害者のフリークライミング普及活動を行っています。

さらに、小林さんは、157cmの身体で、パラクライミング世界選手権B1クラスで4連覇を果たしました。東京パラリンピックでは、正式種目にならず、金メダリストにはなれませんでした。パラクライマーとして世界トップクラスの存在です。

彼は、「見えない壁だって、越えられる。」といひます。「見えない壁」とは、「自分にはできないのではないか」と思う心の声のことです。「やったことがない」、「障害があるから」という気持ちを乗り越え、失敗してもいいからやってみようと思つてチャレンジすれば、できることはたくさんあるといひのです。また、うまくいくことを願って待ちの姿勢で「期待」するのではなく、こうしたいと「希望」を持つことで、チャレンジする気持ちが生まれてくるといひています。

何かに「希望」をもって、「見えない壁」をおそれず、生きたい人生に向かって、いろいろな人と関わり、いろいろなことにチャレンジする、そんな1年間にしたいものです。そんな人を支え助けられる人は必ずいます。



令和3年度杉並区教育調査アンケート結果報告

令和3年度「学校評価アンケート」の数値データをお知らせいたします。年末のお忙しい時期、多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。この「学校評価アンケート」は杉並区教育委員会が実施している教育調査と学校独自のアンケートを合わせたもので、保護者や地域の皆様に学校への理解を深めていただくとともに、生徒を含めた皆様のご意見を来年度の教育計画に反映させ、学校・保護者・地域がより連携・協力しながら、学校の力を高めていきたいと考え、実施しています。なお、回答の「5：とても思う」と「4：思う」の割合を肯定率(%)として数値で表しています。

【生徒アンケート集計結果】 回答率 88.2%

	質問	肯定率
杉並区調査	1 先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	88.9
	2 授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	64.2
	3 授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	46.9
	4 授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	54.1
	5 授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	80.5
	6 学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	87.0
	7 先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	78.2
	8 先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	94.1
	9 先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	76.2
	10 道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	83.1
	11 先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	78.5
	12 地域の行事に参加している。	30.3
	13 先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	47.9
学習指導について	14 わたしは授業の内容を理解できている。学校の授業で学ぶことにより、わかることやできることが増えている。	74.9
	15 先生は黒板の書き方やプリントなど、わかりやすい指導を工夫してくれている。	76.9
	16 先生は評価について、丁寧に説明してくれる。	74.9
	17 道徳の授業では、自分の生き方や命の大切さを考えられている。	80.1
	18 わたしは自分で課題を見つけて、自ら学ぶようになった。	55.4
	19 授業中、自分の考えや気持ちを発表することがよくある。	49.2
	20 わたしは使用上の注意を守り、授業でタブレットを活用している。	85.0
	21 わたしは使用上の注意を守り、家庭学習でタブレットを活用している。	67.8
	22 タブレットを活用することで、学習内容の理解を深めたり、課題に取り組みやすくなったりしている。	66.1
	23 家庭学習は毎日おおよそ何時間くらいしていますか。(塾は除く) 5: 2時間以上 4: 1時間以上 2時間未満 3: 30分以上 1時間未満 2: 30分未満 1: 0冊	56.0
	24 今現在(12月)、「自学ノート」は何冊目ですか。 5: 10冊目以上 4: 5冊目以上 3: 2冊目以上 2: 1冊目 1: 0冊	27.4
生活指導について	25 わたしは自分から挨拶をしている。	82.4
	26 わたしは自分と違う意見や考え、気持ちを大切にできている。	80.1
	27 わたしは心や体の健康に気をつけたり、体力が高められる工夫をしている。	64.2
	28 わたしはみんなと協力して当番活動(給食や清掃など)にしっかりと取り組んでいる。	87.6
	29 わたしは学校のきまりをきちんと守っている。	86.3
	30 わたしは食事や睡眠など規則正しい生活を心掛けている。	64.2
学校行事	31 わたしは楽しみにしている学校行事がある。	72.6
	32 行事では、一人一人に成長するチャンスがある。	75.2
	33 学年や学級で団結して行事に取り組むことができている。	83.1
進路指導	34 学校は将来の進路や生き方・働くことの意味について考える指導をしてくれている。	82.1
	35 学校では生き方や進路について、先生に相談することができる。	63.2
	36 学校は進路に関する情報を十分に提供してくれる。	70.7
学校の取り組み	37 学校は家庭学習が定着するよう指導してくれている。	55.4
	38 学校は安全な学校生活を送れるよう考えてくれている。	82.1
	39 学校は自分の考えをまとめ、発表する力を育てようとしてくれている。	76.9
先生について	40 先生は、熱心に指導してくれる。	80.8
	41 先生は、誰に対しても、公平に接してくれる。	62.9
	42 学校内に気軽に話をしたり、悩みを相談できる先生がいる。	53.1
	43 先生は、あなたの良いところや努力したところを認めてくれる。	74.3
学校全般	44 学校生活が充実している。	74.9
	45 わたしは松溪中学校が好きである。	67.1
読書活動について	46 わたしは朝読書によく取り組んでいる。	75.2
	47 わたしは月に1冊以上の本を読んでいる。	61.2
	48 わたしは休み時間や放課後に学校図書館を利用している。	39.7
	49 わたしは学校図書館で本を借りている。	62.5
その他	50 将来実現したい夢や目標がある。	64.8
	51 今の自分を「好き」と言える。	40.4

【保護者アンケート集計結果】 回答率 74.6%

			肯定率
杉並区調査	1	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	81.2
	2	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	51.5
	3	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	67.3
	4	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	83.1
	5	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	65.0
	6	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	67.7
	7	学校は、ICT 機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。	78.2
	8	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	77.4
	9	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	79.3
	10	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	52.6
	11	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	40.2
	12	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	18.0
	13	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	64.3
学習指導について	14	説明やワークシート、黒板のまとめ、ICT 機器の使用など、わかりやすく授業を工夫している。	60.2
	15	学校は、学習の評価についての説明や情報提供をしている。	71.1
	16	道徳の授業は、自分の生き方や命の大切さを考える機会になっている。	69.2
	17	子どもは自分で課題を見つけ、進んで勉強をしている。	46.2
生活指導	18	子どもは家庭学習が定着している。	46.2
	19	学校はあいさつの励行やきまりを身につけさせ、学校生活が向上するように指導している。	71.4
	20	学校はいじめや不登校を解決するために、相談にのったり、話し合ったりしている。	44.4
学校行事	21	学校は子どもの学校生活が充実し、楽しめるように指導している。	71.8
	22	学校行事では、子どもが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	69.9
進路指導	23	子どもは、学校行事に楽しく取り組んでいる。	78.6
	24	学校では将来の進路や生き方、働くことの意味について考える指導をしている。	64.7
学校の取り組み	25	学校では進路について、情報提供があり、相談する機会がある。	63.9
	26	学校の教育方針や指導の重点が明確である。	61.3
	27	教職員が協力して生徒指導を行っている。	66.2
教職員について	28	学校は、発表会・外部講師の授業など様々な取り組みを行っている。	72.6
	29	先生は、子どもを大切にしてくれる。	78.9
	30	先生は授業や行事などの教育活動に熱心に取り組んでいる。	82.3
学校の安全性	31	先生は、子どもの教育について相談すると丁寧に対応してくれる。	71.4
	32	学校は子どもの安全を守るための指導や訓練を行っている。	72.2
	33	学校は子どもの安全確保のための情報を適切に保護者へ提供している。	67.3
	34	学校の施設の安全性は確保されている。	75.2
地域連携	35	学校のコロナ対策は適切に行われている。	76.7
	36	学校は地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	61.3
情報提供	37	学校は地域の活動や行事に協力している。	59.4
	38	学校からの様々な通信に、保護者として知りたい情報が盛り込まれている。	73.3
学校全般	39	学校公開や保護者会などは、学校を知る機会となっている。	78.9
	40	子どもは学校生活が楽しいと感じている。	75.9
	41	学校では朝読書など読書活動の取り組みが充実している。	70.7
	42	わたしは保護者会に参加したり、行事を参観したりするよう心掛けている。	68.4

今年度から教育調査のアンケート回収の方法が変更になりました。それまでは質問紙を配布していましたが、マイクログラフ・フォームを使用し、モバイルから回答できる方法になりました。集計速度は圧倒的に早くなりましたが、保護者の皆様方のご感想をお聞かせいただきたいと思ひます。

調査結果から、地域との連携した活動や小中連携という点が、低くなっています。今年度もコロナ禍において、様々な地域行事が中止になり、中学校として参加する機会を失われてしまったことが大きな要因と考えています。

小学校との連携については、マイクログラフ・フォームを活用し、本校生徒会と各校代表児童とのリモート会議の実現によって、年末の合同挨拶運動や呼びかけの動画の作成を実現することができました。

緊急事態宣言の発出により、学校公開も例年より少なかったことから、学校での様子、授業や部活動の情報がなかなかご家庭に届かなかつたことを、次年度の課題と捉え、ホームページのリニューアルや学校だより、学年だより等により、さらなる情報の発信に努めていきたいと思ひます。

今回、肯定率の低い項目については、結果を真摯に受け止め、生徒一人ひとりが充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。

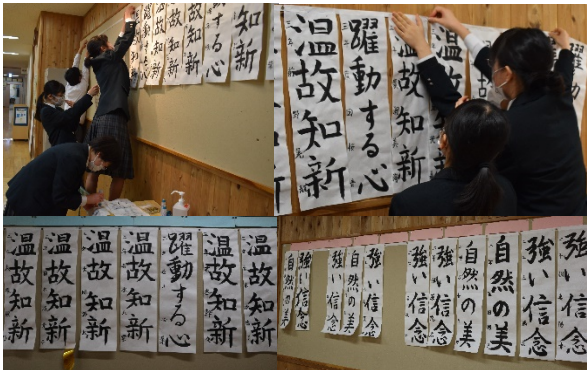
これからも、本校の教育活動への、ご理解とご協力をお願いいたします。

教育活動の紹介

校内書き初め展(1月31日まで)

冬休みの宿題である「書き初め」を校内で一斉に展示する「校内書き初め展」が今月31日まで、各教室に展示されています。松溪中学校3学期当初の恒例行事です。

1月11日(火)、3学期初日の放課後、各クラスの国語係を中心に廊下に掲示しました。各学年の表彰生徒は以下になります。



なお、区展には3年生の谷浦花怜さん、植木悠貴子さん、丸山千陽さん、2年生の早川 碧さん、松林息吹さん、1年生の近澤凜音さんの作品を出品します。おめでとうございます。

【金賞】

3年…谷浦花怜、植木悠貴子、丸山千陽
2年…早川 碧、松林息吹
1年…近澤凜音、小山 希

【銀賞】

3年…三宮麻莉、門脇桂奈、革島万理、松尾怜央
2年…平井菜結、押野愛美、鯨 南菜
1年…田中那奈、池田夏埜、高橋花美、石川千遥、栗原愛実

【銅賞】

3年…霜島みらい、大友瑠夏、岡本大毅、村田 凜、竹田結衣、辻岡夏波、樋地光嘉
2年…土肥美陽、藤田あかり、橋本奈々、阿部瞭一、野澤娃花
1年…大友美瑠、久古谷明音、恒川孝拓、森 千鶴、阿部灯里、岡田光汰

百人一首大会(1月15日)

年明け恒例の百人一首大会は、杉並かるた会の方を読み手に1年生も2年生も各チームで白熱した戦いが繰り広げられました。デモンストレーションでは、選手が目にも留まらぬ速さで札を取る毎に「おおー！」と感嘆の声が上がっていました。



2月の予定

- 1日(火) 専門委員会
- 2日(水) 都立高校推薦入試発表日
- 3日(木) 1年校外学習(川越市)
- 4日(金) 2年復習確認テスト、中央委員会
- 5日(土) 土曜授業、先輩の話を聴く会(1・2年)
- 7日(月) 生徒集会
- 9日(水) 杉教研一斉研究会
- 11日(金) 建国記念日
- 14日(月) 安全指導
- 15日(火) 定期考査一週間前(部活動停止)
- 16日(水) 職員会議
- 17日(木) 避難訓練
- 19日(土) 新入生保護者説明会(14:00~)
- 21日(月) 都立一次前期入試、校内研修(5校時カット)
- 22日(火) 定期考査一日目(社・技家・美)
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 定期考査二日目(国・理・音)
- 25日(金) 定期考査三日目(数・英・保体)
- 28日(月) 朝礼

お知らせ

11月に実施(1年生は12月実施)しました、東京都教育委員会主催令和3年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の調査結果から、生徒一人ひとりの「個人票」をまとめ、先日、生徒に配布いたしました。この調査結果から、どのように学習を進めているのかという学習に対する意識がわかります。

本来ならば、12月の三者面談時に活用できればよかったのですが、今年度は実施時期の関係上、個人票をお渡しするだけになりましたが、今後どのように学習を進めていけばいいのかをご家庭でお話をするきっかけになっていただければと考えています。

また、この個人票から学校として、生徒個人にどのようにアプローチしていけばよいかを検討し、3学期の授業にも役立てていきたいと考えています。ご不明点などがございましたら、担任までご連絡ください。